

# 令和5年度 事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

## I. 事業実績の総括

当財団は、県内就職の促進、U I ターンの支援に取り組むため、平成4年に設立された。  
(平成23年4月に公益財団法人に移行)

以来、事業規模を拡大し、以下の三つの大きな柱を中心に、定住を促進する事業を展開している。

- 1：若年者の県内就職の促進
- 2：県外からのU I ターンの促進
- 3：活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組みは、これまでも県の基本計画等に示されてきたところであるが、令和2年3月に策定された、県の最上位の行政計画である「島根創生計画」並びに「島根県雇用対策計画（令和2年3月策定）」及び「島根県県民いきいき活動促進基本方針（令和2年3月第3次改訂）」の施策に位置付けられているところであり、県の主管部局（地域振興部、商工労働部、環境生活部）と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

上記の「島根創生計画」は、令和6年度までの5年間を期間とし、各年度の成果指標の目標値が設定されている。当財団事業に関連する成果指標の目標設定もあり、その達成を意識しながら事業の実施に努め、下表のとおりの実績となった。

成果指標	R5 年度目標	R5 年度実績
産業体験事業終了時定着者数	75.0 人	76.0 人
U I ターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	337.0 人	337.0 人
ふるさと定住・雇用情報コーナーの相談実人数 (東京・広島・大阪計)	820.0 人	1,085.0 人
ふるさと回帰支援センターでの相談実人数	150.0 人	161.0 人
しまコトアカデミー受講者数 (累計)	349.0 人	343.0 人
移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー 累計受講者数 (東京・大阪累計)	1,640.0 人	2,292.0 人
関係人口マッチングサイトによる県内地域への マッチング件数 (累計)	50.0 件	134.0 件

概ねコロナ禍前の日常が戻ってきたと感じられるなか、集客型のイベント・事業においては、オンライン方式によるメリットを活かしつつ、対面型中心へとシフトし、あるいは組み合わせながら、より効果的な事業の実施に努めた。

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

## II. 若年者の県内就職の促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	81,083	71,014
自主事業	7,500	7,344

### 1. キャリア相談事業 1,594千円

#### (1) 事業の概要

学生や若年者(45歳未満)を対象に、就職についての“悩み”や“分からないこと”を専門のキャリア・アドバイザーが話をじっくり聴き、アドバイスやサポートを行う。

#### (2) 事業の実績

- ・対面、WEB、電話による就職活動についての“悩み”や“分からないこと”の相談、応募書類の添削や面接練習対応、就活力向上プログラム「ステップ9」の実施

#### 【ジョブカフェ来所者・相談実績】

(単位：人)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
来所者(延人数)	7,253	4,934	4,544	4,472	4,167
松江センター	5,450	3,432	3,112	3,119	3,352
浜田ブランチ	1,803	1,502	1,432	1,353	815
個別キャリア相談	4,625	3,149	2,976	3,033	2,901
松江センター (うちWEB等)	3,270	1,885 (1,013)	1,783 (767)	1,928 (576)	2,217 (621)
浜田ブランチ (うちWEB等)	1,355	1,264 (899)	1,193 (804)	1,105 (511)	684 (212)
学 生	3,111 (67.3%)	2,505 (79.5%)	2,294 (77.5%)	2,333 (76.9%)	2,103 (72.5%)
既 卒	1,514 (32.7%)	644 (20.5%)	667 (22.5%)	700 (23.1%)	798 (27.5%)

- ・就職活動での様々な場面を想定したテーマ別の就職応援ミニセミナーの実施
- ・県内大学と連携した相談対応をするため、島根大学・島根県立大学での出張相談や島根県立大学での出張セミナーの実施

➡県内企業を就職希望先の選択肢の一つとして検討してもらえるようにするため、業界研究の内容も踏まえながら、県内企業の情報を相談者に丁寧に提供・発信することが必要

### 2. 学生に向けた情報発信 4,413千円

#### (1) 事業の概要

就職する方を含め県内高校等を卒業する学生の「しまね登録」への登録を推進し、登録者へ卒業後も島根と「つながる」情報を届ける。

## (2) 事業の実績

- ・就活情報サイト「ジョブカフェしまね」で県内企業の企業情報・求人情報の提供、ジョブカフェしまねが実施するイベントや助成金等の情報を発信
- ・若者の情報収集の手段がSNS等に移行している状況を踏まえて開始した「しまね登録」について、県内各高校と県教育委員会、県雇用政策課と連携し登録を推進するとともに、LINEアプリを通じて学年等に応じた就活イベントや助成金等の情報をタイムリーに配信

【高校卒業時のしまね登録の状況】(単位：人)

R3	R4	R5
1,680	1,567	1,570

※参考：しまね学生登録の状況  
2,845人 (R6.4.1時点)

- ➡高校卒業時の「しまね登録」の登録手続きを前倒して実施するなど、引き続き強力に推進するとともに、県外出身者も含め就職活動を始める学年を中心とした学生等への登録促進も必要

## 3. 就職活動イベントの実施 25,218千円

### (1) 事業の概要

卒業前年次以下の学生等に対して、県内企業の情報提供と出会いの場を創出するために、説明会等を開催する。

### (2) 事業の実績

- ・対面形式でのイベントを実施

【イベントの開催状況】

(単位：人・社)

イベント名	開催日	場 所	参加者数	参加企業数
しまねジャンボ企業博	12/28	くにびきメッセ	346	149
しまね企業ガイダンス	3/2	くにびきメッセ	273	198

【しまね企業ガイダンスオプション企画の開催状況】

(単位：人・社)

企画名	開催日	内 容	参加者数	参加企業数
学生×企業のサキドリ就活	11/18	学生と企業がチームを組んでグループワークを行いながら交流	14	9
しまねスカウト型就活	2/17	学生がブースを設けて、企業採用担当者等に自己PR	27	24

- ・オンラインで県内企業情報を掲載

【実施状況】

県内企業を紹介する動画「ジョブチャンネル」を公開

参加企業数：210社 視聴回数：30,179回

- ➡早期化した就職活動のスケジュールに合わせるとともに、学生の情報収集の手段や参加しやすい内容等を勘案しながらイベントを実施することが必要

#### 4. しまね短期仕事体験等関連事業 9, 894千円

##### (1) 事業の概要

三省合意の改正の内容に対応し、しまね短期仕事体験、しまね学生インターンシップ、しまね1Day仕事体験を実施する。

##### (2) 事業の実績

- ・しまね短期仕事体験【名称変更】(旧しまね学生インターンシップ)

学生の希望等に配慮しながら、受入企業とのマッチングを実施

三省合意の分類：キャリア教育 (タイプ 2)  
対象：卒業前年次以下の学生  
参加方法：マッチング形式

##### 【しまね短期仕事体験の実績】

項目	R3			R4			R5		
	夏期	春期	計	夏期	春期	計	夏期	春期	計
申込企業数(社)	112	96	208	124	111	235	125	104	229
申込学生数(人)	369	127	496	387	97	484	327	91	418
マッチング件数(件)	352	117	469	396	104	500	336	92	428
マッチング企業数(社)	76	54	130	80	46	126	69	44	113
参加者数(延数)	315	110	425	362	101	463	318	88	406

- ・しまね学生インターンシップ【新規】

実施企業や実施内容等の情報を特設サイトに掲載し、学生への情報提供を実施

##### 【しまね学生インターンシップの実績】

項目	R5
申込企業数(社)	105
申込学生数(人)	85

三省合意の分類：インターンシップ (タイプ 3)  
対象：卒業前年次の学生  
参加方法：学生が企業に直接申込

- ・しまね1Day仕事体験

実施企業や実施内容等の情報を特設サイトに掲載し、学生への情報提供を実施

##### 【しまね1Day仕事体験の実績】

項目	R3	R4	R5
申込企業数(社)	119	144	119
申込学生数(人)	321	191	86

三省合意の分類：キャリア教育 (タイプ 2)  
オープンカンパニー (タイプ 1)  
対象：卒業前年次の学生  
参加方法：学生が企業に直接申込

※申込学生数について、R5年度～ジョブカフェしまねへの申込数を計上

- ・インターンシップ等説明会

受入企業の担当者から短期仕事体験等のプログラム内容等を聞く交流会を開催

開催日	参加者数	参加企業数
6/2	26	9
12/28	35	16

(単位：人・社)

- ➡県内企業を就職希望先の選択肢の一つとして検討してもらうためには、インターンシップ等を通じて県内の企業や仕事の魅力を知ってもらうことが重要であるため、三省合意の改正の内容に対応したインターンシップ等を引き続き実施していくことが必要

**5. 県内企業の採用力強化の支援 7, 282千円**

**(1) 事業の概要**

県内企業の経営者、採用担当者等を対象に、インターンシッププログラムの改善等採用力向上のための効果的な取組について学ぶセミナー等を実施する。

**(2) 事業の実績**

- ・インターンシッププログラム強化セミナーを開催

**【セミナー開催実績】**

(単位：社)

開催日	内容 (テーマ)	場 所	参加社数
6/28	採用につなげる学生のフォローアップの仕方	オンライン	65
11/9	事例と演習で学ぶ。はじめてのプログラム設計	くにびきメッセ	27

- ・「ジョブカフェしまね」サイトの改修等を実施

採用情報の訴求力を高めるため、求人原稿を新卒求人・一般求人に出し分ける等の改修を行うとともに、サイト活用マニュアルを作成し説明会を実施

- ➡インターンシップ等の受入の充実につながるセミナーを引き続き実施するとともに、企業訪問等を通じて実態を踏まえた情報提供や支援を行うことも必要

**6. しまね就職活動応援助成 11, 383千円**

**(1) 事業の概要**

県内企業の理解促進と県内就職の増加を図るため、県内企業に就職活動を行う学生やしまね学生インターンシップ等に参加する学生に対し、交通費、宿泊費を助成する。

※R4年度からしまね未来サポート事業と連携し、助成率を10/10に引き上げ(R3年度までは1/2)

**(2) 事業の実績**

- ・就職活動助成

県内企業で就職活動をする学生に対し、交通費・宿泊費を助成

**【就職活動に関する助成実績】**

(単位：件、円)

項 目	R1	R2	R3	R4	R5
助成件数	42	89	205	410	355
助成金額	489,400	721,700	1,546,600	7,496,414	6,564,573

- ・インターンシップ等助成

しまね学生インターンシップ等に参加をする学生に対し、交通費・宿泊費を助成

**【インターンシップに関する助成実績】**

(単位：件、円)

項 目	R1	R2	R3	R4	R5
助成件数	27	27	15	30	44
助成金額	648,100	344,100	219,100	1,369,252	1,793,851

- ➡県内企業での就職活動やインターンシップ等を増やすため、学生や企業等へ助成金の周知を行い、活用を促進することが必要

### Ⅲ. 県外からのU I ターンの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	304,261	283,341
自主事業	2,800	2,975

#### 1. 無料職業紹介事業 6,361千円

##### (1) 事業の概要

U I ターン希望者が島根県内で円滑に就職できるようにきめ細やかな就業相談をしながら、求人情報をはじめとする定住支援情報を提供する。

##### (2) 事業の実績

- ・しまね移住情報ポータルサイト「くらしまねっと」を活用し、U I ターン希望者と県内企業が直接WEB上でのやりとりを実施
- ・職業紹介担当を配置し、U I ターン希望者と県内企業の求人のマッチングの実施と、移住希望の地域の生活環境や移住支援情報を提供

【無料職業紹介事業の実績】 ※R5 年度 KPI (就職決定者数)=337 人 (単位：人)

区分／年度	R1	R2	R3	R4	R5
求職登録者	2,051	2,119	2,131	2,496	2,911
(新規登録者)	644	736	618	930	771
(U ターン)	232	231	202	230	227
(I ターン)	412	505	416	700	544
(I の内関係有)	107	106	98	185	150
就職決定者【KPI】	316	282	283	295	337

- ・求職登録者が、その後の相談に繋がるようにすることが重要であり、登録内容に応じた案内メール送信等の対応を実施

【相談対応状況】 (単位：人・件)

相談者数 (実数)	相談件数 (延べ)
1,477	5,213

【移住者数】 (単位：人)

移住決定者数	移住家族人数	移住者総数
373	255	628

- ➡K P I である就職決定者数が過去最高数であったが、引き続き高い決定数を出すためには、個別相談できめ細やかな求人提案をするとともに、取りこぼしがないように市町村や関係機関等との密な連携が必要
- ➡島根に移住後のフォローアップも重要であり、移住者同士の交流の場の設定や要望に応じ個別の支援を実施していくことが必要

## 2. UIターンしまね産業体験事業 109,597千円

### (1) 事業の概要

県外からのUIターン希望者を誘導するため、3ヵ月以上1年以内の期間、農林漁業等の産業体験を行う場合に、滞在に要する経費を一部助成する。

### (2) 事業の実績

- ・コロナ禍で年々増加していた認定者数は、前年度比43%減となった。急激な減少の要因は、コロナの5類移行・物価高騰・都市部での人件費上昇などが考えられる。

【体験者数】

(単位:人)

認定年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H8～累計
認定者数	88	83	93	103	107	61	2,374

- ・認定者の内訳：農業40人、畜産2人、林業3人、漁業12人、その他4人

【終了時定着率】※KPI(終了時定着者数)=75人

(単位:人)

区分	R3	R4	R5
体験終了者数	91	111	93
終了時定着者数【KPI】	77	98	76
終了時定着者率(%)	84.6	88.3	81.7

- ・終了時定着者数が前年度比22人の減、定着者率も6.6%の減ではあるものの、高い水準で推移

➡社会情勢の影響が懸念されるが、定着率が高く移住者獲得に直結する事業のため、広報・周知活動を強化するとともに、関係団体との連携による新規認定者の確保が必要

➡認定者が体験終了時に定着することが重要であり、体験者へのフォローアップの実施や体験者同士の仲間づくりの場を設定していくことが必要

## 3. UIターン情報発信事業 37,208千円

### (1) 事業の概要

WEBサイト、SNS、情報誌等を通じてUIターン情報を発信する。

### (2) 事業の実績

- ・移住女子をターゲットに据え、インスタグラムの開設や、島根に移住してきた女性のリアルな島根の暮らしの様子を漫画コンテンツ・リレーブログ形式で発信
- ・「島根で働く人の想い」、「職場の雰囲気」を感じられるよう『心で読む求人票』特設サイトの掲載記事を充実
- ・UIターン希望者に対する「しまね登録」への新規登録キャンペーンを実施

➡島根の暮らしの良いところばかりの情報発信に偏ることなく、よりリアリティが感じられるよう、デメリットも含めた情報提供が必要

➡移住検討に必要な情報は、それぞれ求める情報等が異なるため、意図的にそれぞれの属性にターゲットを絞りアプローチしていくことが必要

#### 4. UIターンイベント等の開催 56,185千円

##### (1) 事業の概要

島根県の移住相談や情報提供を目的として、UIターンイベントを開催する。

##### (2) 事業の実績

- ・「しまね暮らし」と触れ合うことのできるイベント「しまね暮らしマルシェ」を初めて東京で開催。実際に移住した方々等にも出展していただいた。

日付	会場	来場組数	相談者数
10/15	東京	968組	11組(21人)

- ・対面イベント「しまね移住フェア」を東京・大阪にて開催。市町村だけでなく、支援機関や移住の先輩ブースも設置するなど、4年ぶりに制限なしで実施

日付	会場	財団相談件数	市町村相談件数	来場者数
7/15	大阪	67組(90人)	212組(279人)	102組(140人)
11/19	東京	79組(111人)	370組(511人)	304組(461人)
合計		146組(201人)	582組(790人)	406組(601人)

- ・島根オリジナルのバーチャル会場を活用し、幅広いニーズに応えるオンラインイベント「しまね移住ワンダーランド」を開催 (単位：人)

年度	R2	R3	R4	R5
開催日	10/31, 11/28	10/30, 31	12/3	12/9
イベント来場者数	1,123	1,038	2,346	2,667
入場チケット発行数	560	561	450	259
市町村等対応者数	271	220	168	128
財団対応者数	77	93	50	39

- ・現場からの中継や事前収録などを駆使し、島根暮らしを体感してもらう「しまね移住体感オンラインツアー」をテーマごとに開催

日付	テーマ	相談組数	参加者数
6/4	仕事	27	123
9/2	近所付き合い	20	90
3/9	移住のネック	17	151
合計		64	364

(単位：組、人)

➡オンラインイベントは、参加のし易さのメリットがある反面、個別相談まで繋げる率が低い等の課題があるため、対面イベントとのバランスを考えながら組み込んでいくことが必要

➡全国の自治体による移住イベントが乱立しているため、マルシェなど新たな取り組みにより新規顧客をいかに確保し、相談につなげていくかの工夫が必要



## 5. Uターン促進に向けた戦略的イベント 9,969千円

### (1) 事業の概要

Uターン者に特化した取り組みを行うことによりUターンの促進を図る。

### (2) 事業の実績

- Uターン呼びかけ広報事業として「しまねサプリプロジェクト」を実施。島根県内在住の若者から県外在住の島根県出身の若者に対して、Uターンの呼びかけを協力してもらった。

(単位：人)

県外の友達	Uターン情報に触れる機会がなかった人	Uターンしたい人
187	77%	33%

- Uターン積極採用企業とのマッチングイベントとして「しまねUターン転職大作戦」を実施

(単位：人)

開催期間	Uターン求職者数	就職決定者数(R6.4末時点)
12/1～2/29	20	8

- ➔ Uターン者の中で「いつか島根に」という気持ちのある方としっかり繋がり、島根にUターンするきっかけとなるような工夫をしていくことが必要

## 6. 「しまね移住支援サテライト東京」の活動 45,599千円

### (1) 事業の概要

首都圏における移住情報の提供や相談対応、島根への興味、意識啓発のセミナーの開催、交流機会の提供により、UIターン者の増加、関係人口の創出・拡大に取り組む。

### (2) 事業の実績

- 日比谷しまね館（令和6年2月から紫ビルに相談窓口を移転）及びふるさと回帰支援センターに移住支援コーディネーターを配置し、移住希望者の様々な相談に対応
- 対面イベントへの出展対応や回帰センターでの移住セミナーをオンラインから対面に切り替えて実施したことにより、個別の相談件数が増加。移住確度の高い相談者を丁寧に島根につなげられるよう、個々の希望に沿ってきめ細やかな対応を行った。

#### 【相談実績】

(単位：件)

相談場所	相談件数
日比谷しまね館	489
ふるさと回帰支援センター	198

- ・島根移住への関心を高め、新規相談に繋げるため、ふるさと回帰支援センター等で移住セミナーを開催
- ・島根への興味喚起、関心層の掘り起こしのため、首都圏在住者向けに移住・関係人口に関するセミナーを開催

【セミナー実績】

(単位：人)

種 別	開催回数	参加者数
移住セミナー	14回	132
関係人口セミナー	17回	250

- ・企業版関係人口の創出のため、地域課題解決に向け県内3市町（安来市、川本町、奥出雲町）と都市部企業とのマッチングを調整
  - ・首都圏における相談窓口の認知度の向上、新規相談を増やすため、サテライト東京専用のホームページを改修
- ➡引き続き、首都圏における相談窓口である「しまね移住支援サテライト東京」や「ふるさと回帰支援センター島根県ブース」の認知度向上のため、取り組みの強化が必要

## IV. 活力と魅力ある地域づくりの促進

(単位：千円)

	現計予算額	決算額
県補助事業	52,450	49,199
NPO 中間組織委託事業	3,100	2,927

### 1. 関係人口拡大事業 12,606千円

#### (1) 事業の概要

地域活性化への貢献や将来の移住に繋げるため、関係人口と地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域の掘り起こし及びマッチングを行う。

#### (2) 事業の実績

- ・関係人口（サポーター）と、地域づくりの担い手として関係人口を受け入れたい県内地域団体（オーナー）とのマッチングを行うポータルサイト『しまっち!』を運営

【しまっち! 利用状況】

年度	R3 (10月～)	R4	R5	累計
オーナー登録数	31件	49件	47件	127件
サポーター登録数	129人	302人	566人	997人
プログラム掲載数	28件	67件	100件	195件
マッチング件数	16件	48件	70件	134件

< 関係人口向け（掘り起こし及び活動参加促進） >

- ・関係人口と地域団体の接点づくりのため、関係人口マッチングイベントをオンラインで5回開催

(単位：人)

年度	R4		R5	
	開催日	参加者数	開催日	参加者数
第1回	5/26	9	5/25	12
第2回	6/16	23	7/25	15
第3回	7/26	18	10/5	10
第4回	10/8	18	11/9	10
第5回	1/26	16	2/2	13
第6回	3/8	14		
合計		98		60

- ・しまっち! プログラムへの参加促進のため、プログラムに参加する関係人口に対し、参加交通費・宿泊費を一部助成する『しまっち! サポーター地域活動参画助成金』を新設（助成額：片道交通費・宿泊費の半額／上限1万円）

助成件数	(うち県外)	(うち県内)	助成金額
94	(70)	(24)	662,888

(単位：件、円)

- ・首都圏の大学生の関係人口創出を図るため、島根県と連携協定を締結する専修大学にR3年度から寄附講座を設置。全15回の講座をオンライン及び対面で実施

年 度	R3	R4	R5
履修登録者数	95	156	185

(単位：人)

- ➡専修大学寄附講座や県外拠点（東京、大阪）における関係人口側の掘り起こしの取り組みは今後も継続して行う。並行して、掘り起こした人材を関係人口に引き上げるため、情報提供や「しまっち！」サポーター登録促進などを継続して行う必要がある。
- ➡関係人口候補者が地域活動に参加するには、地域団体との直接の接点の有無や参加時の旅費などの経費がネックになっているケースがあるため、引き続き地域団体との接点づくりや経費助成を行うことにより、地域活動参加を促進する。
- ➡地域活動に繰り返し参加する関係人口が出現してきた。関係人口、地域団体双方から、より密接に関わりたいというニーズが表出。中期的に地域に滞在しながら地域活動に参加することにより、関係人口・地域双方にどのような変化が起きるかを検証する事業をR6年度新規事業として実施を予定している。

<地域団体向け（受入機運醸成、受入促進）>

- ・関係人口受入への機運醸成、受入ハードルを下げることを目的に、関係人口受入事例を学ぶ「地域づくりオールスター祭」を対面で開催

(単位：人)

年 度	開催日	開催形式	内 容	参加者数
R5	12/23	対面	講演、分科会形式での事例発表・意見交換	120
R4	2/28	オンライン	講演、事例発表、グループディスカッション	106
R3	2/24	オンライン	講演、事例発表、グループディスカッション	117

※イベント名称：R3「関係人口フォーラム」、R4「しまね地域づくりフォーラム」

- ・関係人口の活用を検討する地域団体の要請に応じ、アドバイザー派遣を5件実施
- ・「関係人口受入助成」により、関係人口の受入事業を行う地域団体の事業実施に要する経費を助成し、地域団体における関係人口の受入を促進（上限額：10万円）

年 度	R4	R5
助成件数	13件	12件
助成金額	1,142,000円	985,000円
受入人数	246人	242人

- ➡地域団体での受入事例の増加により、関係人口受入の機運や意欲は徐々に高まっているが、団体や地域により積極性に差がある。引き続き、機運・意欲の醸成に向けた取り組みにより、関係人口受入に対する懸念点などを払拭していく。

## 2. しまコトアカデミー 16,187千円

### (1) 事業の概要

島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に、島根県への関心層の拡大及び地域貢献を目指す方の育成、そうした人材のネットワーク化を図るための連続講座を実施する。

### (2) 事業の実績

- ・東京・関西・広島・島根の4講座を開講。感染症拡大の影響によりR2～R4はオンライン開催となったが、R5は全講座対面で実施した。

#### 【受講生数】

(単位：人)

年度	東京	関西	広島	島根	小計	累計
R5	12	7	7	18	44	343
R4	12	9	8	12	41	299
R3	12	10	8	10	40	258

#### ※R5受講生・受講後の状況

- ▶3月に松江で開催された「しまっち！」プログラムに神奈川県から参加（東京講座）
  - ▶同期・先輩と関西でのコミュニティを立ち上げ、運営開始（関西講座）
  - ▶マイプラン実現を目指し、NPO立ち上げの動きを開始。財団の専門相談を活用（島根講座）
- ・修了生とR5年度受講生及びしまコトに関心を持つ一般参加者が視聴・交流する「しまコトナイト」を2月にオンラインで開催した。

(単位：人)

しまコトナイト	第1部（一般あり）	第2部（修了生のみ）
2/19	113	28

- ・修了生の活動フォローに向けて、修了生の現在の状況やニーズ把握のための交流会を対面で実施した。

(単位：人)

修了生交流会	東京会場	大阪会場
開催日	11/19	2/18
参加者数	10	12

➡関西及び広島地域の受講生確保が課題。各地域在住者のニーズ把握と提供価値の見直し、効果的な広報手段の確立に取り組む。

➡しまコトアカデミーは開始から10年以上が経過し、修了生数が300人以上となった。修了生コミュニティを維持しながら、受講後の活動の選択肢を提供したり、修了生自らの活動をフォローする仕組みづくりの検討・実践に取り組んでいく。

### 3. しまね田舎ツーリズムの推進 5, 345千円

#### (1) 事業の概要

「食」「体験」「宿泊」が連携した農家民泊・漁家民泊の普及拡大に向け、しまね田舎ツーリズムの利用促進の広報や研修等を行い実践者の支援を行う。

#### (2) 事業の実績

- 実践者等に対してコーディネーター等による助言・アドバイス等を随時実施

【田舎ツーリズム実践者数及び受入人数】 (単位：人)

年 度	R1	R2	R3	R4	R5
登録施設数	106	135	147	163	167
受入人数	10,674	4,745	5,056	8,459	調査中

- 実践者の研修会やリスクマネジメント研修、意見交換会を実施

【研修会等開催実績】

リスクマネジメント研修 (テーマ：体験受入に伴うリスク管理)

開催日	会 場	参加者数
6/6	オンライン	11
6/6	松江市	5
6/13	益田市	9
6/14	浜田市	21
6/14	奥出雲町	4
6/15	知夫村	3
6/16	隠岐の島町	1
6/16	雲南市	2
6/16	大田市	6
6/19	邑南町	11
合 計		73
YouTube 視聴		89

(単位：人)

#### 県内研修会

開催日	会 場	概 要	参加者数
6/6～19	各衛生講習会会場	子ども受入時のリスク管理	39
9/21	大田市	いきいき座談会	14
10/18	知夫村	情報交換会	13
1/17	オンライン	オンライン新年会	6
合 計			72

(単位：人)

- 移住検討者の受け入れに積極的な民泊施設を特集した冊子の作成、「くらしまねっと」登録者へ広報の実施

➡移住検討者や関係人口を受け入れる体制・プログラムづくり強化に向けて、対象者のニーズを把握し、各種キャンペーンや広報活動に役立てていく。

#### 4. 社会貢献活動促進事業 5, 958千円

##### (1) 事業の概要

地域の課題解決に向け、自主的・自発的に取り組む団体の活動（いわゆるNPO活動）がより活性化し、より良い地域づくりが展開できるための組織・人材育成支援などを行う。

##### (2) 事業の実績

- ・NPO法人の基礎的な事務力向上を目的としたセミナー・検定を実施
- ・NPOの組織力を強化するためのマネジメント、資金調達力を強化するための講座等、基盤強化研修を実施

(単位：人)

実務者研修			基盤強化研修		
開催日	研修	参加者数	開催日	研修	参加者数
9/1	NPO 事務局セミナー	30	6/1	ファンドレイジングセミナー	17
	NPO 事務力検定	20	7/13		14
1/19	NPO 事務局セミナー	26	8/24	情報発信力強化セミナー	29
	NPO 事務力検定	21	9/7		15
			12/21	ファンドレイジングセミナー	14
			2/1		12
合計		97	合計		101

- ・県内のNPO情報やボランティア等について、広く情報発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO活動に関する情報発信をサポート

##### 【県内NPO法人数の推移】

(単位：件)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
認証件数	8	9	11	11	7
解散件数	8	10	15	2	14
所轄庁変更	0	0	2	0	0
法人総数	286 法人	285 法人	279 法人	288 法人	281 法人

- ・休眠預金の活用に向け、資金分配団体として中国5県でコンソーシアムを組み、島根県内の団体にも対応できるよう体制を整え、申請を希望する団体を支援

##### 【休眠預金 支援事業】

採択年度	採択団体	事業名	助成金額
2020	特定非営利活動法人 石州きずなの里	“きずなで咲かそう” 笑顔の花プロジェクト	1,700 万円
2021	ワークアット株式会社	地域や世代を越えた融合による新たなビジネス創出	2,000 万円
2022	特定非営利活動法人 石西防災研究所	市町村域での民間団体の相互防災支援ネットワーク作り	1,183 万円
2022	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	社会福祉法人等との連携による災害福祉支援活動体制整備事業	1,347 万円

- ➡NPO活動が持続的に実施されることが重要であり、組織基盤強化、財政基盤強化に向けたサポートが引き続き必要。また、休眠預金活用事業等を通じ、中間支援組織としての定住財団の支援力強化に取り組んでいく。